評価計画・評価から評定への総括方法

観点別学習状況の評価基準

- ①学習指導要領の内容をおおむね満足できると判断されるものを「できる」(B)とし、Bを基準に十分満足できると判断されるものを「よくできる」(A)、努力を要するものを「もうすこし」(C)とする。
- ②評価は、テストの点数の他に、授業中の学習・ノート・作品等も考慮して総合的に評価する。
- ③観点別学習状況は、相互に関連するものであるなので、原則的にして同一児童の同一教科内においてAとCが混在する状況がないようにする。

観点別学習状況の評価の評定への総括方法

観点別学習状況の評価の、Aを3点、Bを2点、Cを1点として考える。

観点別学習状況の評価			合計	要録の評定
A	A	A	9	3
A	A	B	8	3
A	B	B	7	2
B	B	B	6	2
B	B	C	5	2
B	C	C	4	1
C	C	C	3	1

3・・・8～9点

2・・・5～7点

1・・・3～4点